

受付番号票貼付欄

社会福祉法人設立登記申請書

フリガナ

1. 名称

1. 主たる事務所

1. 登記の事由 令和 年 月 日 設立の手續終了

1. 認可書到達の年月日 令和 年 月 日

1. 登記すべき事項

「名称」社会福祉法人〇〇

「主たる事務所」〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号

「目的等」

〇〇を目的として、次の社会福祉事業を行う。

1 第一種社会福祉事業

(1) 〇〇の経営

(2) 〇〇の経営

2 第二種社会福祉事業

(1) 〇〇の経営

(2) 〇〇の経営

(3) 〇〇の経営

「役員に関する事項」

「資格」理事長

「住所」〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号

「氏名」〇〇〇〇

「従たる事務所番号」1

「従たる事務所の所在地」〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号

「資産の総額」金〇〇〇万円

「解散の事由」〇〇〇〇

「登記記録に関する事項」設立

1. 添付書類

定 款	1 通
設立時理事長の選定を証する書面	1 通
就任承諾書	2 通
資産の総額を証する書面	1 通
認可書（又は所轄庁の認証がある謄本）	1 通
委任状	1 通

上記のとおり、登記の申請をします。

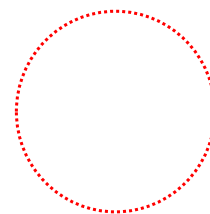
令和 年 月 日

申請人（主たる事務所）
（名称）

理事長（住所）
（氏名）

連絡先の電話番号

登記所届出印↓



法務局 支 局 御中
出張所

設立時理事長の選定を証する書面の例

(注) 一例です。法人の実情に合わせて作成してください。

設立時理事長選定書

1. 招 集 年 月 日 令和○年○月○日
1. 開 催 場 所 ○県○市○町○丁目○番○号
1. 開 催 日 時 令和○年○月○日午後○時
1. 設 立 時 理 事 総 数 6名
1. 出席した設立時理事の氏名 ○○○○、○○○○、○○○○、
○○○○、○○○○、○○○○ (全員出席)

1. 議事の経過の要領及び議案別議決の結果
議長として設立時理事○○○○が推され、直ちに審議に入った。

議案 設立時理事長選定の件

議長は、当法人の設立時理事長を選定する必要がある旨を述べ、議場に諮ったところ、全員一致をもって、下記の者が選定された。

なお、被選定者は、席上直ちに就任を承諾した。

設立時理事長 住所 ○県○市○町○丁目○番○号
氏名 ○○○○

以上をもって本日の議案の全部を終了したので、議長は閉会を宣言し、午後○時○○分閉会した。

上記の議決を明確にするため、この選定書を作成し、議長、出席設立時理事及び設立時監事の全員がこれに記名押印する。

令和○年○月○日

社会福祉法人○○理事会

議長設立時理事	○○○○	印
設立時理事	○○○○	印
同	○○○○	印
同	○○○○	印
同	○○○○	印
同	○○○○	印
設立時監事	○○○○	印

(注) 席上で被選任者が就任を承諾し、その旨の記載が選定書にある場合には、申請書に、別途、就任承諾書を添付する必要はありません。この場合には、「就任承諾書は、設立時理事長選定書の記載を援用する。」と記載してください。

理事長たる理事が設立時理事の就任を承諾したことを証する書面の例

就 任 承 諾 書

私は、令和○年○月○日、貴法人の設立時理事に選任されたので、その就任を承諾します。

令和○年○月○日

○県○市○町○丁目○番○号
○○○○

社会福祉法人○○ 御中

設立時理事長の就任を承諾したことを証する書面の例

就 任 承 諾 書

私は、令和○年○月○日、貴法人の設立時理事長に選定されたので、その就任を承諾します。

令和○年○月○日

○県○市○町○丁目○番○号
○○○○

社会福祉法人○○ 御中

財産目録の例

財 産 目 録

令和〇年〇月〇日現在

資産の部

1 基本財産 金 〇〇円

内訳

2 運用財産 金 〇〇円

内訳

(1) 土地	種類	筆数	地積	単価	金額
(2) 建物	構造	棟数	床面積	単価	金額
(3) 附帯設備	種類	構造			金額
(4) 什器備品	品名	数量		単価	金額
(5) 預金	種類	預け先			金額
(6) 現金	金額				

上記は、当法人の財産目録である。

社会福祉法人〇〇

理事長 〇〇〇〇

委任状の例

委 任 状

○県○市○町○丁目○番○号
○○○○

私は、上記の者を代理人に定め、次の権限を委任する。

- 1 当法人の設立登記を申請する一切の件
- 1 原本還付の請求及び受領の件 **(注1)**
なお、認可書到達の年月日は、令和○年○月○日である。

令和○年○月○日

○県○市○町○丁目○番○号 **(注2)**
社会福祉法人○○
理事長 ○○○○ **印 (注3)**

- (注) 1 原本還付の請求をする場合に記載します。**
2 主たる事務所を記載します。
3 当該理事長が法務局に提出する印鑑を押します。